



## 青森県感染症発生情報 (2017年第33週)

### I 第33週の発生動向 (2017/8/14~2017/8/20)

1. 手足口病については、**県内全ての保健所管内で警報**が継続しています。県全体では、前週は定点当たり報告数が減少しましたが再び増加し、特に五所川原保健所管内で大幅に増加しましたので引き続き注意が必要です。
2. **RSウイルス感染症**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較して、かなり多い状態が続いています。東地方+青森市保健所では定点当たり報告数が0.88から1.63に、三戸地方+八戸市保健所管内でも1.40から1.60に増加しており、当該週の県全体の定点当たり報告数(1.00)と比較して多い状態が続いています。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
3. **流行性耳下腺炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較して、やや多い状態が続いており、特に上十三保健所管内で定点当たり報告数が0.67から2.17に増加していますので注意が必要です。

### II 第33週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減																
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																	
小児科 内科	インフルエンザ															1	0.02	-1													
小児科	RSウイルス感染症															13	1.63	8	0.89	16	1.60	1	0.20	3	0.50	1	0.25	42	1.00	5	
	咽頭結膜熱															2	0.25					2	0.40			2	0.50	6	0.14	-2	
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															5	0.63	6	0.67	9	0.90			1	0.17	3	0.75	24	0.57	-3	
	感染性胃腸炎															8	1.00	8	0.89	21	2.10	15	3.00	13	2.17	10	2.50	75	1.79	-14	
	水痘															4	0.50					1	0.20					5	0.12	-1	
	手足口病															48	6.00	50	5.56	35	3.50	83	16.60	63	10.50	30	7.50	309	7.36	57	
	伝染性紅斑																	2	0.22									2	0.05	2	
	突発性発しん															7	0.88	5	0.56	2	0.20			1	0.17			15	0.36	2	
	百日咳																			1	0.10							1	0.02	-1	
	ヘルパンギーナ															8	1.00	10	1.11	7	0.70	14	2.80	10	1.67	13	3.25	62	1.48	-5	
眼科	流行性耳下腺炎																			8	0.80	2	0.40	13	2.17	2	0.50	25	0.60	-6	
	急性出血性結膜炎																														-1
基幹	流行性角結膜炎															5	2.50												5	0.45	4
	クラミジア肺炎																														0
	細菌性髄膜炎																														-1
	マイコプラズマ肺炎																	1	1.00							1	1.00	2	0.33	0	
	無菌性髄膜炎																			1	1.00							1	0.17	1	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																			1	1.00			1	1.00			2	0.33	2		

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者報告無し。

## 感染症の窓

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (五類全数把握対象疾患)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (Carbapenem-Resistant Enterobacteriaceae :CRE)感染症は、グラム陰性菌による感染症の治療において重要な抗菌薬であるメロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症です。

CREは主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こします。また、健康者に感染症を起こすこともあります。いずれも肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、その他多様な感染症を起こし、しばしば院内感染の原因となります。

青森県における平成26年第38週(2014年9月19日)から平成29年第33週(2017年8月20日)現在までのCRE患者の報告数は48人でした。患者の性別は男性30人、女性18人と男性が多く、年齢群では70歳以上が32人と、全体の67%を占めています(図)。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [感染症情報：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌\(国立感染症研究所HP\)](#)

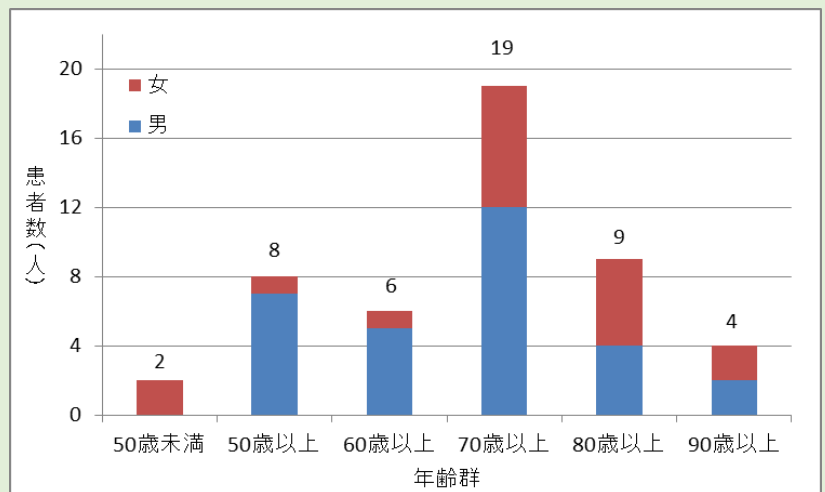


図 青森県のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症患者の性別年齢分布  
平成26年第38週(2014年9月19日)~  
平成29年第33週(2017年8月20日)現在

### III 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸1人、五所川原2人（2017年計：195人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人、上十三2人（2017年計：22人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人、むつ1人（2017年計：50人）

### IV 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

上気道炎患者（咽頭ぬぐい液（鼻汁）、7/26）・・・ヒトライノウイルス A：八戸市1人  
 手足口病患者（咽頭ぬぐい液（鼻汁）、7/27）・・・ヒトライノウイルス A：八戸市1人  
 無菌性髄膜炎患者（咽頭ぬぐい液、8/2）・・・コクサッキーウイルス A6型：青森市1人

### V 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第30週～2017年第33週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	レジオネラ症1人	梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症4人 つつが虫病1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人	
31	H29.7.31 ~ H29.8.6	E型肝炎1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人			
32	H29.8.7 ~ H29.8.13	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		梅毒1人		
33	H29.8.14 ~ H29.8.20	腸管出血性大腸菌 感染症1人		梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人	梅毒1人

### VI 結核(二類全数把握対象疾患)（2017年第30週～2017年第33週） (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	1	3	1			
31	H29.7.31 ~ H29.8.6	1	5	3	2	2	
32	H29.8.7 ~ H29.8.13	2	1				
33	H29.8.14 ~ H29.8.20	1		1	2		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第32週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	13696	4	93	1696	24	10	210	185	19	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	3	1	2	63	2	2	102	124	153	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	3	30	14	1	945	11	661	176	941	452

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	8	121	350	848	39	244	16	2194	193	3336

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	81	70	54	56	172	15

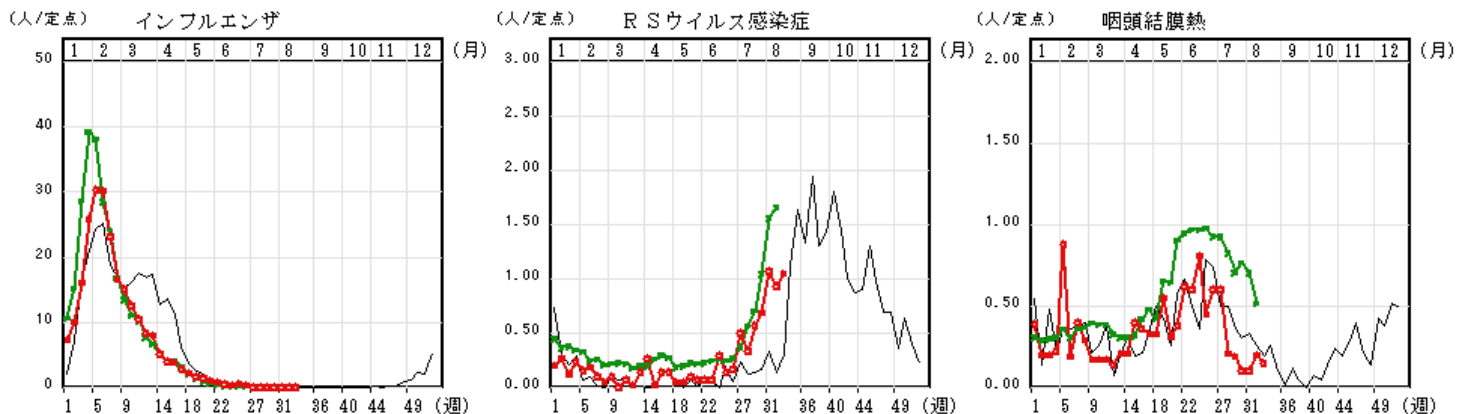
青森県（2017年第33週までの累計）

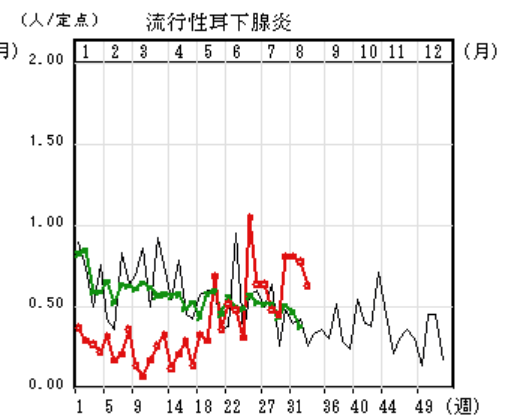
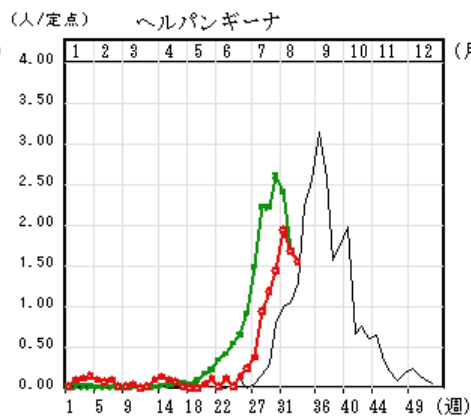
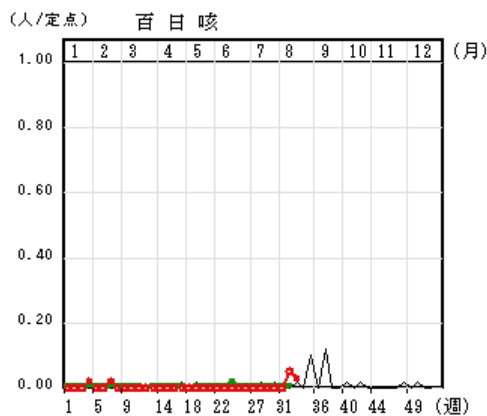
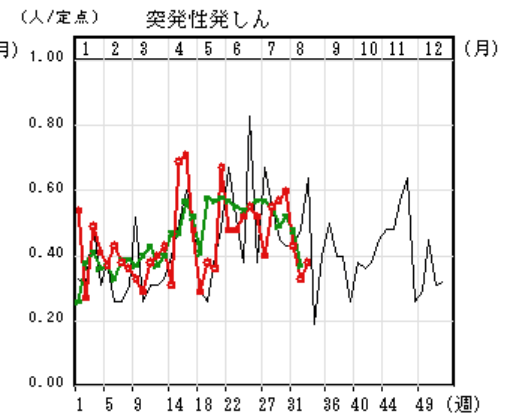
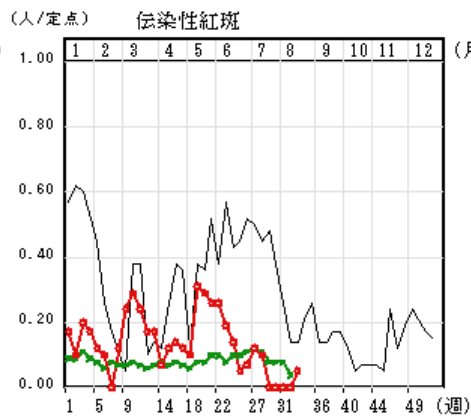
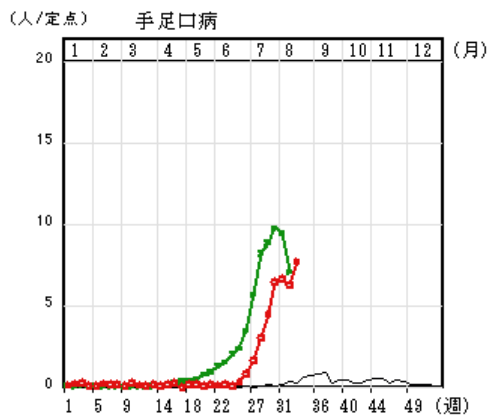
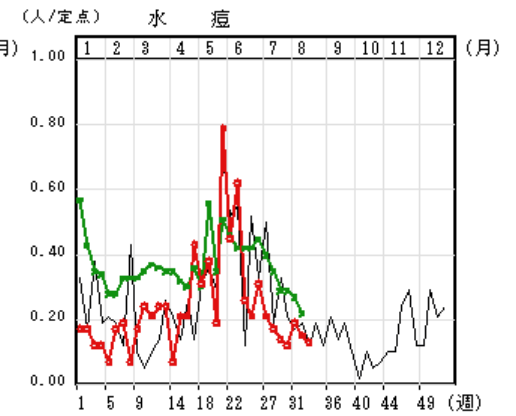
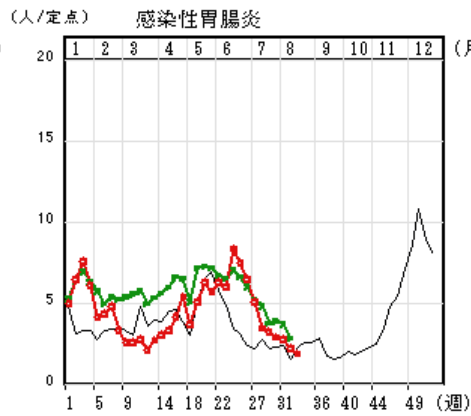
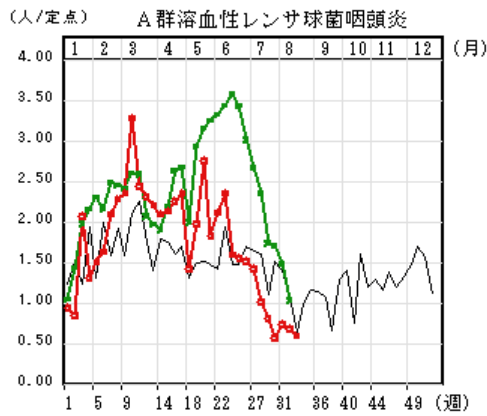
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	195	22	6	2	10	7	3	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	5	1	8	1	50

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第33週、ただし全国は前週）

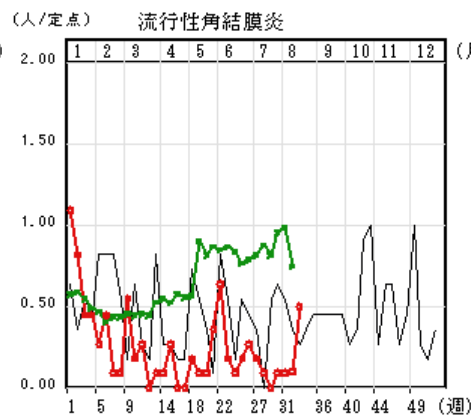
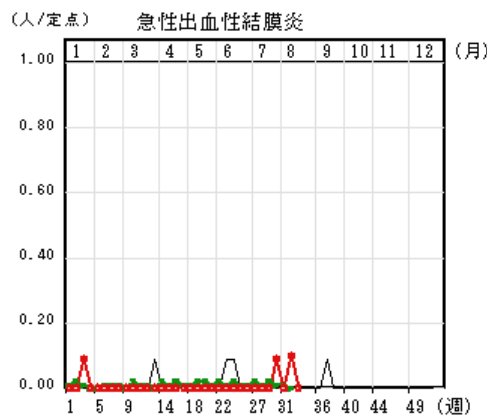
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





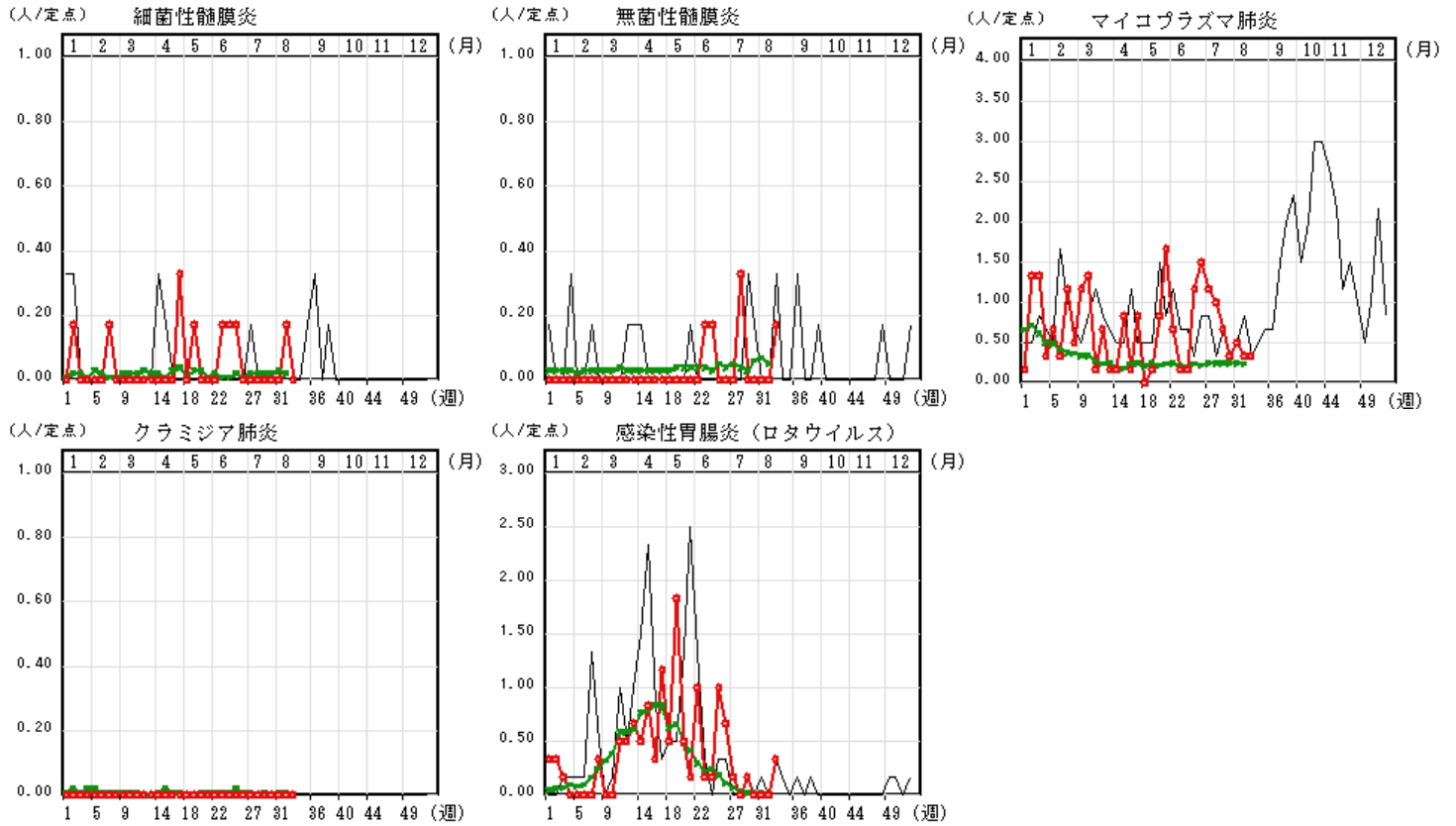
IX 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第33週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第33週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第33週  
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)									計 (施設別)	
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31週	32週		33週
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	0	0	212